

事務事業コード	736110	事務事業名	国分舞鶴園生活指導型ショートステイ事業	担当部	保健福祉部
				担当課	国分舞鶴園
政策名	5	たすけあい支えあうまちづくり		グループ	管理グループ
施策名	3	地域福祉の推進		電話番号	46-2205
基本事業名	4	高齢者の自立支援サービスの推進		内線番号	46-2205
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	3	民生費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 12 年度~)
	項	1	社会福祉費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	養護老人ホーム費	根拠法令・条例等	老人福祉法、霧島市立養護老人ホームの設置及び管理に関する条例、霧島市地域支援事業実施要綱
	コード	736110			
関連計画	霧島市地域支援事業(保健福祉部 長寿障害福祉課 主管)				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績			
<p>基本的に生活習慣が欠如していたり、対人関係が成立しないなど、いわゆる社会適応が困難な者で、(1)介護保険の要介護認定の結果「自立」を認定された概ね65歳以上の高齢者で、(2)その他この事業によるサービスの利用が真に必要と認められる、緊急性の高い者を一時的に施設に入所させ、生活習慣等の指導、体調調整等の支援を行う。</p> <p>原則として7日間以内(6ヶ月に1回)を利用限度とする。</p> <p>サービスの提供は、「介護予防一般高齢者施策」のうち「地域介護予防活動支援事業」の1つ「生活指導型ショートステイ事業」として、「地域ケア会議」において策定されたサービスプランに基づき行う。なお、この事業は受入事業のため、国分舞鶴園からの働きかけは難しい。</p> <p>サービス単価 1日3,810円(本人利用料 381円。但し、飲食物提供にかかる費用を除く) 食費単価 1日870円</p>			なし			
			平成22年度計画			
		受入事業のため、活動の計画はなし				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	ショートステイ利用者数	人	0	0	5	2
イ						
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	ショートステイを必要とする高齢者	人	0	0	5	2
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	生活習慣等の指導や体調調整等の支援が受けられる	人	0	0	5	2
イ						
ウ						
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	自立させ、日常生活をおくれるようにする。	件	4,742	4,819	4,984	5,085
イ						

(2)事業費

単位:千円

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	267	211	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
	補正予算額	0			
	予算合計	267	211		
決算額	国庫補助金	0		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	0			
	支出合計	0			
				特になし	特になし

事務事業コード	736110	事務事業名	国分舞鶴園生活指導型ショートステイ事業	担当部	保健福祉部
				担当課	国分舞鶴園

単位:千円	平成21年度(決算)			平成22年度(当初予算)			平成23年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報酬								
2	給料								
3	職員手当等								
4	共済費								
7	賃金								
8	報償費								
9	旅費								
10	交際費								
11	需用費			211		211			
	消耗品費			150		150			
	燃料費								
	食料費								
	印刷製本費								
	光熱水費								
	修繕料								
	賄材料費			61		61			
12	役員費								
	通信運搬費								
	広告料								
	手数料								
	保険料								
13	委託料								
14	使用料及び賃借料								
15	工事請負費								
16	原材料費								
17	公有財産購入費								
18	備品購入費								
19	負担金補助・交付金								
20	扶助費								
21	貸付金								
22	補償補填及び賠償金								
23	償還金・利息・割引料								
24	投資及び出資金								
25	積立金								
26	寄附金								
27	公課費								
28	繰出金								
	計			211		211			

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他				87		87		
一般財源				124		124			
計				211		211			

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成21年度	当初予算	267千円		
	補正予算			
	第1回(6月)	第5回		
	第2回(9月)	第6回		
	第3回	第7回		
	第4回	第8回		
	予算合計	267千円		

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	
利用者負担金	381円×7日×2回×5人=26,670円
食費	870円×7日×2回×5人=60,900円

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	自立を促して、自宅に帰すという状態に7日間でもっていくことは至難の業であり、そのまま施設入所になるケースが多い。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	地域支援事業において、民間の施設と委託契約をしており、公立の園でしなくてはならないという妥当性はない。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	介護予防事業ではなく、浮浪者、災害被災者等の一時保護措置の事業としたほうがよい
	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	実績がない。
B 有効性 評価	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input checked="" type="checkbox"/> 影響がない	民間施設と委託契約をしているため影響なし。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 国分舞鶴園管理運営事業の一環で通常入所として扱うか地域支援事業の民間の他契約施設を利用する。
	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	国分舞鶴園管理運営事業の一環で通常入所として扱うか地域支援事業の民間の他契約施設を利用する。
C 効率性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	国分舞鶴園管理運営事業の一環で通常入所として扱うか地域支援事業の民間の他契約施設を利用する。
	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

D 公平性 評価	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 受入事業であり、国分舞鶴園からの積極的関与はしないが、現在までの受入実績を見る限り、事業内容にそぐわない点が多く、また、利用者からのフィードバックも得にくいため、個別の事業として評価すべきか疑問である。受入に係る費用だけを、管理運営事業の1つとして予算計上すればよいように思う。
	A 目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	
総括	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	国分舞鶴園は、養護老人ホームであり、介護施設でないために、他の介護保険を用いた民間の委託施設とは性格を異にする。今までの利用者も介護予防の目的ではなく、DVからの避難や、火災等による緊急避難など多く、本来の目的からは外れている。

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
受け入れ事業のため、国分舞鶴園からの積極的取り組みはない。	管理運営事業内での予算編成